



### 桜の前にクマ舎オープン

まだかまだか、と気をもむ季節になりましたが、かみね動物園の桜は7日現在まだほとんどつぼみの状態です。4月になって始めての土曜日、日曜日ですが外の気温はたったの8度。動物園に来るお客様も、寒い寒いと言いながら園内を巡っています。そんな中、先月もお伝えした通り新クマ舎が今日オープンしました。一日前の昨日は、内覧会と称して議会関係やマスコミ関係に一足早く新獣舎を見ていただきました。みなさん一様に獣舎そのものより北海道から来たエゾヒグマの迫力と、意外な可愛らしさに見惚れていたようでした。



もう少し

今回北海道からやってきたのは13歳のメス2頭でアイとエリコ。平成24年3月17日に着園し、しばらく獣舎に慣れてもらった後に始めて展示場へ出したのが27日でした。この時点で飼育担当は2頭の性格をほぼつかんでいたようで、エリコは出てこないかもしれないとの予想通り、アイだけがグラウンドに出てきました。久しぶりの舎外、それも初めてのグラウンドということでやはり最初は戸惑ってるような格好でしたが、じき慣れるとグラウンドをあちこち巨体をゆすりながら歩き出しました。それにしても、ツキノワグマだけ見てきたせいかその大きさには圧倒されます。デッキ上からクマ用ペレットを投げ入れると、もっと寄せ、と言わんばかりに立ち上がっておねだりのポーズをとります。その仕草はなかなか見ごたえがあるというか、巨体の割に愛嬌があります。そしてその後プールへ行き、始めは浅いほうでバシャバシャ水を叩いて遊んでいたのですが、ついに深いほうにお尻から入り、勢いよく泳ぎ始めました。泳法は、クマかきならぬ犬かき。これまたド迫力です。

動物園で良く言われるのが、せっかく来たのに動物たちは寝てばかりで面白くない、という意見です。動物だって一日中動き回ってるわけではありませんが、なるべく動いてもらいたいというのがお客様の本音かと思います。そのために最近では動物も退屈せず、なおかつお客様からも動物の動きが良くわかるような工夫や仕掛けを各園が真剣に取り組んできています。今度のクマ舎は、プールをつくったことも珍しいと思いますが、見る位置も、クマと同じ目線だけでなく上からも観察できますので、好奇心旺盛なクマたちの動きにこれからも注目してもらいたいと思います。

動物園で平成15年から活動しているボランティア団体「みねこクラブ」が平成24年で数え10年を迎えるということで「みねこクラブ」主催の式典に呼ばれました。みなさん結構年配ながらも(失礼)、動物たちの落とし物や、園内の自然の素材を使って子供たちに小物作りを



エゾヒグマのアイ



もっとちょうだい



泳ぎが好き…かな？



オープン日

教えたり、自作の作品を販売し、売り上げは動物園へ入れてくれたりしています。その地道な活動の積み重ねが今回10年目を迎えたということで誠に頭の下がる思いです。こうした活動もこれまでのリニューアルとあわせ、来園者の増加に結び付いていると思います。小さなお子さんが、自分のお母さん以上の方に色々作り方を教わっている光景は何ともほほえましいものです。これからも、「みねこクラブ」の皆さんには色々とお世話になると思いますし、なお一層のご活躍を期待したいと思います。



みねこクラブの皆さん



ゾウさんの前で

(補足) ちなみに平成23年度の入園者数は、平成23年の地震や原発風評被害にもかかわらず36万人を突破し、過去21年間で最高の来園者数となりました。また、来週の土曜日、日曜日には桜は見頃でしょう。

こちらのサイトもどうぞ (連載中) : [どうぶつのに](#) (新しいウィンドウが開きます)